

第一鳥取丸によるハタハタの漁期前調査結果 (2025年2月25-27日実施)

調査目的・方法

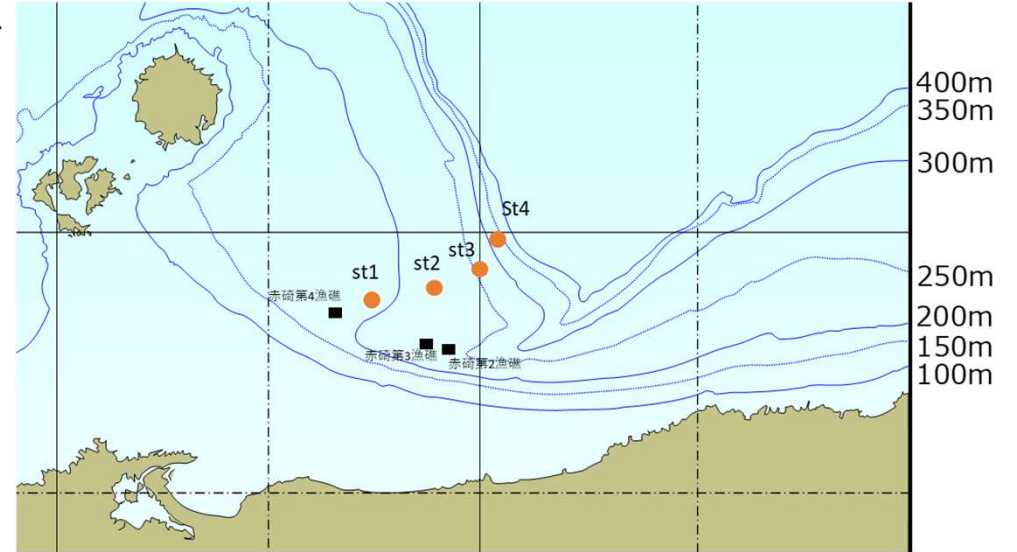
● 沖底船の春漁にとって重要なハタハタの分布状況、特に1、2歳魚の加入状況を把握するため、隠岐東南東の4定点で調査を実施。

● 定点 (St. 1~4) で30分ずつ曳網 (袋網目合7節)



今回のst1の漁獲物
(アカガレイ主体にハタハタがパラパラと混じる)

調査地点



鳥取県水産試験場
底魚資源室 主任研究員 藤原 大吾

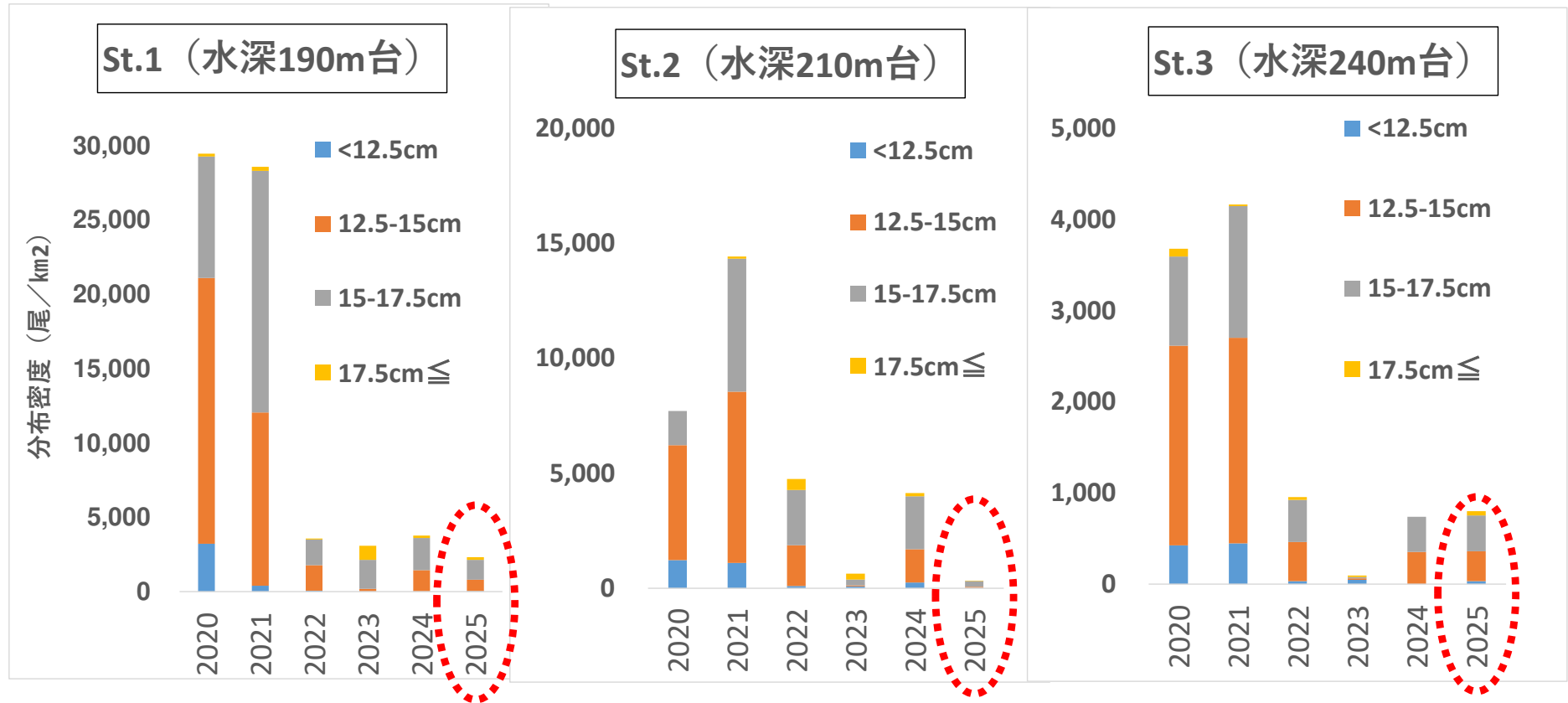
st1~st3は毎年、同一地点を調査
st4は例年と異なる場所を実施。

※新たに導入予定のトロール網の曳網比較試験を実施するため深場で操業

【今回の調査結果と近年の結果】

調査日	St.	曳網開始				曳網方向	主要漁獲物(kg/曳網)												
		水深m	時間	緯度	経度		ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	ヒレグロ	ズワイ♂	ズワイ♀	もさえび	がらもさ	あかえび	白バイ	赤バイ		
2025年2月25-27日	1	194	17:06	35° 52.6558	133° 47.5215	74.5°	6.0	29.6	5.2	8.7	12.0	3.3	1.3	0.0	0.5	0.6	2.7		
	2	216	16:00	35° 54.4868	133° 54.4342	106°	1.0	16.0	1.6	2.8	7.4	7.0	1.9	0.0	0.5	0.9	2.1		
	3	244	10:11	35° 55.3955	133° 58.8192	155°	2.0	3.5	0.0	1.8	10.1	19.5	2.0	0.0	0.8	4.7	1.0		
	4	368	7:31	35° 57.6851	134° 05.5827	130°	0.3	0.8	0.0	0.1	19.2	1.3	0.0	2.2	1.5	3.7	0.8		
2024年2月28-29日	1	192	13:00	35° 52.2000	133° 45.6711	215°	9.5	68.6	0.3	0.9	2.9	1.9	0.5	0.0	0.0	1.6	1.8		
	2	213	15:32	35° 54.6392	133° 53.4894	184°	10.7	56.1	1.2	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.8	2.4	3.2		
	3	245	10:12	35° 55.8168	133° 58.6960	291°	2.0	4.8	0.0	2.2	8.9	28.0	2.4	3.7	2.4	4.4	2.1		
	4	208	7:37	35° 50.3035	133° 51.4187	184°	0.8	31.9	0.7	9.1	6.7	4.4	4.0	0.0	0.9	2.1	2.9		
2023年2月27-28日	1	197	12:59	35° 52.1760	133° 45.5290	54°	10.8	37.0	0.3	0.1	6.6	2.0	1.3	0.0	0.2	0.9	0.8		
	2	214	14:50	35° 54.5402	133° 53.1749	346°	1.5	31.0	1.6	0.3	2.8	2.3	0.9	0.0	0.4	1.1	2.7		
	3	256	16:47	35° 57.4057	133° 58.7735	161°	0.3	1.3	0.0	0.4	7.2	2.4	0.9	0.2	0.5	1.8	0.6		
	4	266	8:53	35° 51.5120	134° 04.2500	320°	0.1	0.4	0.0	0.3	5.8	0.1	0.6	0.4	1.5	2.5	0.2		

調査点毎のサイズ別のハタハタの分布密度 (2020-2025)



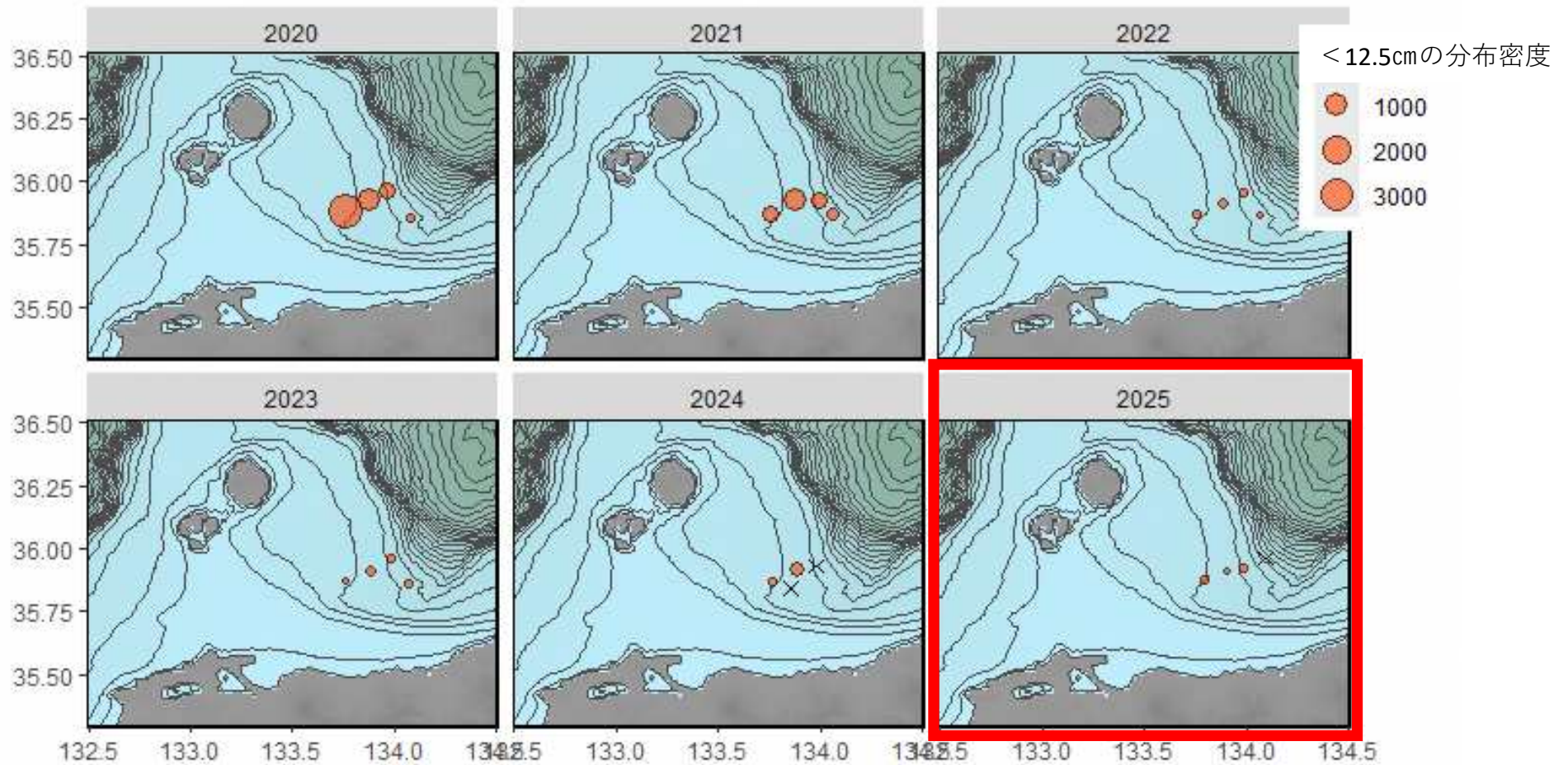
2025年も各調査点での分布密度は低い状況

サイズは■ (12.5-15cm) と■ (15-17.5cm) の2歳魚がメイン

※現在、各港で水揚げされているハタハタも2歳魚がメイン

■ (<12.5cm) の1歳魚 (来漁期に漁獲対象となる資源) は少ない

次期漁獲対象となるハタハタ1歳魚の分布密度（2020-2025）

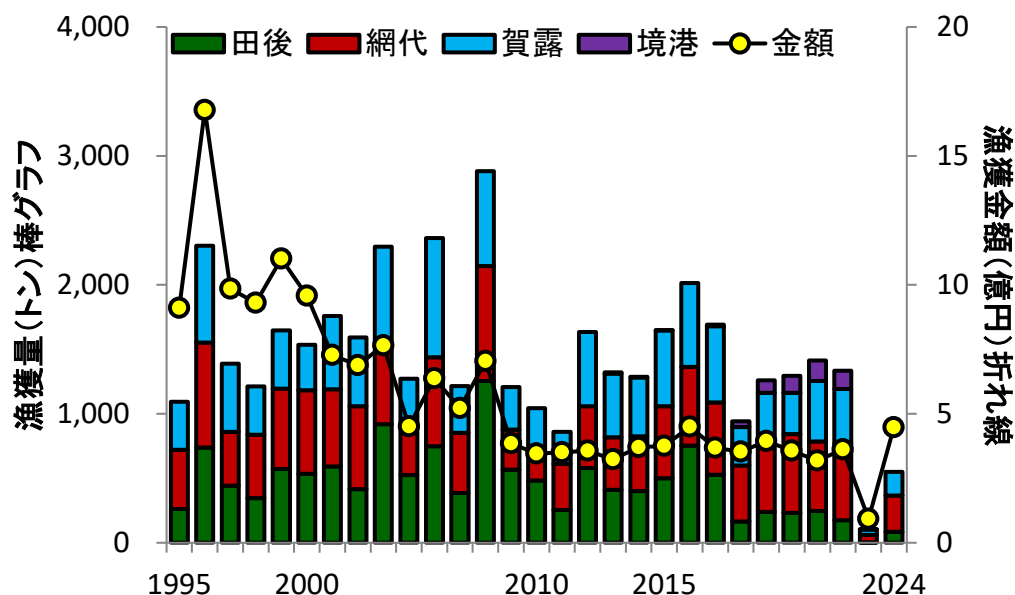


2022年以降、1歳魚の**分布密度は低い状況が継続**。

2025年も1歳魚（2024年生まれ）の分布密度は低い

まとめ（近年のハタハタ漁獲動向と今年（2024年）のハタハタの漁況）

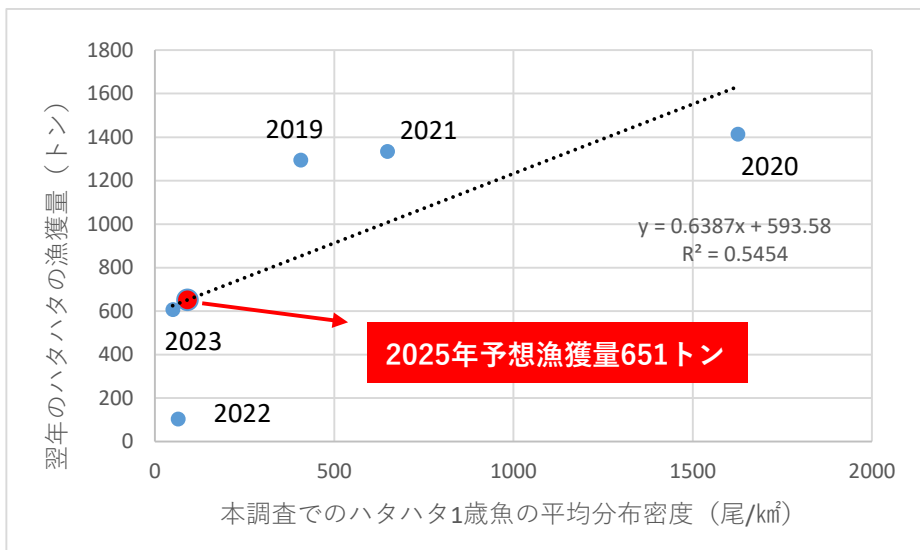
1975年以降の本県のハタハタの漁獲量



2024年の漁獲量は607トンで
2023年の極端な不漁から回復したものの、依然として平年を大きく下回る低調な漁獲
 （前年比585%、平年比56%）

漁獲金額は前年の高単価が継続し、平年をやや上回る。

本調査結果（1歳魚の平均分布密度）から予測される2025年のハタハタ漁獲量



昨年（2024年）の本調査での1歳魚の分布密度も低かったことから、

2025年の漁獲量は前年並みで平年を大きく下回ると予想

一方で、日本海北部（富山～青森県）、北海道でも深刻な不漁となっており、品薄感から高単価は継続すると考えられる。